



森町ホームページ

森町



もりまち
ロケーションマッチ
ホームページ



砂崎灯台と駒ヶ岳



オニウシ公園と駒ヶ岳

駒ヶ岳をぐるりと囲む、 縄文ロマンのまち

優美な山容が特徴的な駒ヶ岳。場所によって、二つの峰が並んで見えたり、単独峰に見えたり……。様々な姿を楽しめるのが、この秀峰の4分の3をぐるりと囲む森町ならではの魅力だ。

飯村さんも、この秀峰に魅了された一人。「駒ヶ岳の雄大な冬の景色が、移住の決め手の一つになりました」という。「見る角度や景色が変わると、全く違う表情を見られるのが好きです」と話す。



環状列石から見た10月後半の日の出

縄文人にとっても、駒ヶ岳は特別な山だった可能性もある。町内にある2021年7月に世界文化遺産登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の関連資産・鷲ノ木遺跡からは、冬至が近くなると、駒ヶ岳の山頂付近に朝日が昇る様子を観測できるそう。

景色を眺めながら、遙か昔に思いを巡らしてみたいかが。

マノワラボ合同会社 副社長 飯村 健太 さん

2022年4月、森町にジビエ工房「マノワラボ」がオープン。東京の有名料理店「マノワ」が設立した工房は、エゾシカの解体、食肉処理、加工を一貫して手がけ、道内外の有名料理店に安全・安心で美味しいジビエを届けている。

副社長の飯村さんは東京生まれ、東京育ちで、同年3月に移住したばかり。以前は東京のレストランでソムリエとして働いていた

が、猟師で同工房顧問の村井貞夫さんとの出会いなど、様々な縁と偶然が北海道へと導いた。エゾシカの処理や加工で忙しい毎日を送りながらも、「都会にはない濃厚な人付き合いを楽しんでいます」と話す。

ジビエの加工にとどまらず、道南の食に関わる様々な事業の展望を描く。「この工房は、地域貢献への思いがあってこそ。地元の若い人たちを巻き込んでいきたい」

マノワラボ合同会社



森町字赤井川187番18
☎080-7365-7403

